

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

彩の国あんしん住宅

グループの名称

さいたま家づくりネットワーク

直近採択グループ番号

04-0181-0202

(グループ代表者)

代表者名

千代岡 英一

代表者印

代表者所属先

株式会社榊住建

代表者所在地

埼玉県さいたま市浦和区上木崎6-13-1

代表者電話番号

048-833-3151

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社榊徳

事務局担当者名

星野 敏之

印

事務局郵便番号

330-0804

事務局所在地

埼玉県さいたま市大宮区堀の内町1-697

事務局電話番号

048-658-5600

事務局FAX

048-658-5605

事務局担当者E-mail

saitamanet@masutoku.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		15	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	15	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		7	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	7	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	・受注が確実視されている工務店で、着工が早い物件に優先的に配分する。 ・経験のない工務店で、着工が早い物件に優先的に配分する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	9戸	交付申請戸数	7戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	7戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	3戸	交付申請戸数	3戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 彩の国あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県を含む近県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) さいたま家づくりネットワーク	(結成年) 2010 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0181-0202	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・自然エネルギーを活用する。(CASBEE戸建-新築の風の取込みレベル3以上、昼光利用レベル3以上、雨水利用レベル4以上) ・高齢者等配慮対策等級3以上とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・夏の日射遮蔽と冬場の日射取得に有効な落葉樹を南側に配置できるよう検討する。また、夏の暑さ、冬の寒さを考慮し、「がまん」「節約」で省エネルギーを図るのではなく、「心地よい」住まい方の設備機器の有効な使用方法等をユーザーへ提案していく。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・日射遮蔽と日射取得を考慮した庇や通風を考えた窓の設計を行う。また、箇所によっては夏期の対策として外付けブラインドやオーニングも検討する。	○
④①～③の背景	・埼玉県の気候は、夏は高温多湿で冬は低温乾燥で北西の季節風が強い内陸性太平洋側気候で、年間快晴日数が全国第1位。 ・埼玉県は、人口約720万人(全国第5位)。生産年齢人口割合(全国第3位)が高いため、平成37年には高齢者単身世帯や高齢夫婦世帯増加が全国第3位に。さらに、要介護(支援)認定者数の増加も予想される。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・外観は、地域の街並み景観に沿うような色合いに配慮する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 常時在庫されている流通規格寸法の木材をメインに使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「さいたま家づくりネットワークの賛助会員(住設・建材メーカー等)と連携し、事務局にて推奨商品一覧表を作成し会員工務店に提示する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅に適した標準仕様書を事務局が作成し、会員工務店が使いやすいようにする。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 資材コストを考慮し、共同で仕入れができるものは、事務局で取りまとめて発注できるよう検討する。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材が有効に活用されるよう、原木供給者・製材事業者・プレカット加工事業者に物件情報を公開し、使用する材木の在庫確認を行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計～プレカット～流通～工務店と連携を図り、事務局が聞き取り調査を実施し、問題を抽出する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は、生産性合理化への聞き取り調査の意見を整理し、定期的におこなわれるスキルアップセミナー(勉強会)で課題と対策の報告を行う。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー施工技術講習会の断熱施工基準に基づいて施工されているかどうかを専任者がチェックできる体制の構築を検討していく。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅省エネルギー施工技術講習会の断熱施工基準に基づいて施工されているかどうかを会員相互にチェックできる体制の構築を検討していく。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主に対し「彩の国あんしん住宅」の仕様とルールを説明の上、積算する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に専任技術者(1級建築士)を配置し、施主及び会員からの相談窓口を設置する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・一次エネルギー消費量算定プログラムを元に、光熱費がどれくらいかかるか消費者にわかりやすい金額表示にしていけるよう検討する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 彩の国あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県を含む近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さいたま家づくりネットワーク	(結成年) 2010 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0181-0202	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・維持保全計画書や指定図書は、住宅履歴サービス機関を活用する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴サービス機関は、住宅あんしん保証とする。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局を通して住宅履歴サービス機関(住宅あんしん保証)へ申し込む。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報サービス機関(住宅あんしん保証)から、工務店・事務局への指定点検時期の告知を行う。(1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年の実施)	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書に基づき定期点検し、必要がある場合は補修をおこなう。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検補修後は、事務局へ報告する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅金融普及協会編集の「住まいの管理手帳戸建て編」を活用し、消費者に維持管理の重要性を啓蒙する。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・会員工務店が独自で開催するイベントにおいて、端材の活用や木工教室・左官教室などの体験会をおこなっていく。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・会員工務店と連携し、現場見学会やメーカーショールームにて相談会を開催する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が、維持管理に関わる情報を集め、会員工務店に情報を提供する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・会員工務店が廃業した場合、事務局が複数の会員工務店を紹介し、選ばれた会員工務店は当グループのルールにのっとった維持管理を行う。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・スキルアップセミナー(勉強会)で瑕疵の事例報告をおこなう。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・将来のメンテナンスがしやすいよう、太陽光パネルの設置場所を建物屋根だけではなく、カーポートの上など様々な場所に設置できるか検討していく。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ内にて経験工務店が開催する現場見学会等を利用し、未経験工務店への研修会を開催する。	○
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・社内で上部躯体検査をおこなう。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局へ上部躯体検査チェックシート提出する。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が聞き取り調査をする。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・2030年には、ゼロエネルギー住宅の割合100%を目指す。 ・長期優良住宅化リフォームの提案・採用が出来るように勉強会を行う。 ・スマートウェルネス事業に関しても取組みを検討する。 ・空き家問題も地域活性の観点から、査定・販売・メンテナンスのスキームを構築する。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・現状の当グループメンバーだけでは解決できない問題も多いため、今後、環境や省エネ問題に詳しい団体や地域に根差した不動産業者・医療関係者ともタイアップをしていく。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 28 今年度の参加目標人数 8	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 5		◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・29年度の開催予定が発表されたら速やかに案内し受講を促す。		◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・最少エネルギーシステム(例:YUCACOシステムなど)を採用し検証する。	◎
② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・最少エネルギーシステム(例:YUCACOシステムなど)のデータを取り、グループで情報を共有する。		◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 ・断熱性と共に気密性も重要なので、今後はグループ内で気密測定をおこなえるよう検討する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 彩の国あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県を含む近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さいたままづくりネットワーク	(結成年) 2010年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0181-0202	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>・土台、柱、梁桁は、埼玉、群馬、栃木、茨城、福島県で生産された合法木材を使用する。(輸送コストや環境配慮(省CO2)などの観点から、近県の材を活用する、また復興支援の観点から福島県産材も採用する)</p> <p>□ 50%未満 ■ 50%以上 □ 80%以上</p> <p>土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している</p> <p>・グループ内の会員工務店には、大工の育成も考慮し、手刻み技術の習得を積極的に取り入れている会社もある。その場合にはプレカット加工事業者を経由しないで地域材を供給する場合もある。</p>
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p>□ ない ■ ある → 内容: ・事務局が工務店から今後の見込みを聞き取り、製材事業者・プレカット加工業者に連絡する。</p> <p>□ ない ■ ある → 内容: ・事務局が工務店から今後の見込みを聞き取り、プレカット加工業者に連絡する。</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・地域型住宅には50%以上の地域材を使用することとしていることから、60戸x5m3=300m3を予定量と設定する。</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 360枚</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 50坪</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 120枚</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 120枚</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・埼玉県小川町の「細川紙」を活用していく。 ・地域の建具業者との連携を図る。</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・埼玉県の中山道沿いの宿場町の伝統的な建物のデザインを勉強する。</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・埼玉県の中山道沿いの宿場町の伝統的な建物のデザインを勉強する。</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・地域の行事にグループとして積極的に参加する。</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・埼玉県の中山道沿いの宿場町の街並みや景観を勉強する。</p> <p>□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・和室、洋室に限らず置き床を設置し、四季を感じる住まい方をする。</p>
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		<p>・家の構造材としてだけの地域材と考えるのではなく、住生活商材(家具・建具等)にも活用できるよう検討を始める。</p>
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		<p>・当グループが指定する地域材である福島県の木材を積極的に使用し、被災地の活性化および復興支援の一端を担う。</p>
平成28年熊本地震の復興に資する取組		<p>・熊本県産材が活用できるよう流通ルートを検討する。</p>

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 彩の国あんしん住宅	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県を含む近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) さいたま家づくりネットワーク	(結成年) 2010年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0181-0202	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- ・認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅
 躯体の断熱性能を上げること、主要構造材は、埼玉、群馬、栃木、茨城、福島県(北関東・福島地域)で生産された合法木材を50%以上使用することによって、消費エネルギーの削減を目指します。
- ・ゼロエネルギー住宅
 埼玉県は、都市型(狭小敷地)から郊外型まで幅広い敷地条件がありますが、省エネ機器の性能だけに頼るのではなく、自然エネルギーを積極的に活用すること、躯体の断熱性能を上げることによって消費エネルギーの削減を目指します。
 住宅版BELS認証を取得します。